

あなたの声を…

こころ

第78号

2018年8月

議会だより



◎審議内容	2
◎中学生議会	4
◎常任委員研修	5
◎一般質問	7
◎町の元気もの	16



甲良町のキャラクター
ココラちゃん

あかちゃん先生の授業風景（東小）

○職員分限懲戒審査委員会条例（撤回後の再提案） ○彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設 候補地の決定見直しを求める意見書



30年6月定例会は、6月5日から12日までの8日間の会期で開催し、報告1件、承認5件、議案9件（内1件審議未了）、同意1件、意見書1件、その他2件の計19件を審査し、審査の結果、いずれも可決・承認した。
 一般質問は、6月5日、6日に9人が行った。

審 議 内 容

報告（1件）

○29年度繰越明許費繰越計算書（一般会計）

1億2553万円を30年度に繰越

主な補正項目
△6713万円

【歳入】

町税 △708万円

地方交付税 1億2358万円

繰入金 △1億4401万円

【歳出】

民生費 △1143万円

土木費 △2531万円

教育費 △1112万円

○条例の一部改正
地方税法の改正に伴う改正。
賛成全員

賛成全員

○国民健康保険税条例の一部改正
地方自治法改正に伴う改正。
賛成全員

賛成全員

○一般会計補正（29年度）
賛成全員

○公用車の事故による損害賠償額を定める
公用車による事故につき、166000円損害賠償。
賛成全員

賛成全員

賛成全員

○作業中の事故による損害賠償額を定める
除草作業中、他車のフロントガラスに傷をつけたことにより、125993円の損害賠償。
賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

議案（9件）

○課設置条例の一部改正の撤回
30年3月5日に提出した条例議案について、指摘事項を十分協議し作成するため撤回。
賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

会条例の撤回

30年3月5日に提出した条例議案について、指摘事項を修正するため撤回。
賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

○職員分限懲戒審査委員会条例
一般職の職員の分限および懲戒に関する事項を審査するため、職員分限懲戒審査委員会を設置。
賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

資格を有する者から免許を有する者に変更と5年以上従事した者であって町長が適当と認めたものを加える。
賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

○特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
上位法の改正に伴う文言整理
賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

賛成全員

町長3議案

撤回

- 課設置条例の一部改正
- 職員分限懲戒審査委員会条例制定
- 30年度一般会計補正予算

たは公共団体が公務で使用するとき。

(2) 町長が公益上必要と認めるとき。

(3) 町長が公の施設の目的に供すると認めるとき。

(4) その他町長が特別の事由があると認めるときに該当するときは、使用料を減額し、または免除することができる。」を加える。

賛成全員

○ 公営住宅管理条例の一部改正

「町税および国民健康保険税を完納していること。」を「その他の徴収金を滞納していないこと。」に改める。

賛成全員

○ 30年度一般会計補正予算

2393万円の追加
総務管理費の委託料で不備があり、審議未了。

○ 30年度一般会計補正予算の撤回

業務委託事業のあり方について、内容を精査し改めて提出することから撤回。

賛成全員

同意 (1件)

○ 固定資産評価審査委員会委員の選任

久保田 進氏(金屋)

賛成全員

意見書 (1件)

○ 彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地の決定見直しを求める意見書
(意見書は関係機関に提出)

※6頁に掲載

賛成全員



30年度一般会計補正予算 2349万追加

可決

(補正予算の主なもの)



防犯カメラが設置される尼子駅



改定される町防災計画書

○ 30年度一般会計補正予算
6月議会でも撤回された一般会計補正予算
賛成 (岡田、田中、野瀬、阪東、宮崎、木村、建部)
反対 (西澤、山田充、山田裕、西川)



一部整備される町役場東側駐車場

第2回臨時会開催

7月13日に開催された臨時会は議案2件を審査し、審査の結果、いずれも可決した。

○ 総合行政情報システム運用管理機器更新の契約議決

契約金額 2592万円
契約相手 京都市

(株)ケーケーシー情報システム

賛成全員

中学生議員11人が 身近な問題について行政に質問!

第13回 中学生議会 中学生目線で鋭く質問

7月10日、中学生議会が開催され、選出された中学生議員12人が村岸選管委員長から当選証書を付与された。



議長は、西川碧晴君が務めた。



11人の一般質問に課長補佐らが答弁を行った。主な質問は次のとおり。



(片岡 まゆな 議員)

□甲良町総合公園にある屋根付きグラウンドの土が荒れてきている。きれいな土に変えることはできますか。



(小島 康平 議員)

□甲良中学校体育館西側

の道路と、横断歩道のある県道から尼子区内に向けての道路幅が狭く、田んぼに落ちそうになることが何度もあります。ガードレール等を設置するなど対策していただけないでしょうか。



(高居 梓彩 議員)

□図書館から横関の信号を通過して役場信号までの道路幅が狭く自動車と接触しそうになるので、道路幅を広くするか、自転車専用レーンをつけるなど、対策していただけないでしょうか。



(松居 穂華 議員)

□尼子の甲良神社西角の変則交差点では、双方が見えにくいため、カーブミラーを設置するなど対策をしてもらえないでしょうか。



(北川 大賀 議員)

□甲良中学校西側の県道交差点から尼子区内に向かつての帰り、暗い道をドキドキしながら帰らなくてはなりません。危険ですので街灯の設置をしてもらえないでしょうか。



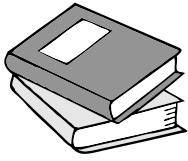
(陌間 めい 議員)

□甲良町へ観光客を取り込むためにどのようなイベントが行われているのか、具体的に教えてもらえますでしょうか。



(松宮 悠惺 議員)

□観光客がたくさん訪れてくれる施設を造ってはどうですか。例えば、いちご狩りができる施設や、道の駅の施設を増やすことはできますか。



□図書館にもっと本を増やしてほしいと思います。例えば、マンガなどは置けないのでしょうか。

(宮田 楓太 議員)



□甲良町内には、お店が少ないと思います。カフェや全国のチェーン店などの店舗を誘致してくるなど考えてもらえないでしょうか。

(中山 修翔 議員)



(村西 春香 議員)



□校舎のトイレを洋式化にするなどの改修計画はありますか。

(西来 颯太 議員)



□屋外でゴミを燃やしている人は、年間何件ぐらいあるのでしょうか。



常任委員会合同行政視察研修報告

総務民生および産業建設文教常任委員会は、合同で6月28日に高島市において、「人口減少対策・空き家対策」などの先進地行政視察を行いました。

総務民生常任委員会では、「人口減少対策」として、市関係者から「若者定住促進の取組みについて」研修を受けました。

高島市の人口推移は、22年に、48,517人であったが、50年後の72年には、28,433人になると予想され、



あいさつされる廣本高島市
議会議長 左は福井市長

本町と同様、急激な人口減少になることから、若者定住促進条例を20年6月に制定し、重点的事業として住宅確保支援、就労・起業支援、子育て環境の向上・定住促進施策を掲げ、移住・定住コンシェルジュとして市嘱託職員を3名配置し、定住相談に力を入れられている。

産業建設文教常任委員会では、「空き家対策の取組みについて」県下で初めて行った略式代執行の説明を受けました。国において27

年2月に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、高島市では昨年度89件の窓口



相談があり、樹木・雑草の越境、瓦・トタン等の飛散や倒壊のおそれの相談が多く、毎月開催している空き家活用相談会への案内を行っている。

本町でも空き家が多く、今後増加していくため、高島市の取り組みを参考にしたいと思う。

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地の 決定見直しを求める意見書

平成29年6月、彦根愛知犬上広域行政組合（以後「組合」と言う）は、貴職の責任において彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地を愛荘町竹原地区（以後「竹原地区」と言う）に決定したことを発表しました。

その後、竹原地区を建設候補地とする決定の見直しを求める声、撤回、反対の声など疑問や不安が周辺住民に広がっています。さる5月15日、組合による説明会が開かれた会場でも建設候補地決定に対する不信や矛盾を指摘する意見・質問が相次ぎました。建設候補地決定に至る不明朗さについては、①第三者による候補地選定委員会が一位とした応募地を外したこと、②選定委員会による報告が提出された後開かれた管理者会で6回までは彦根市内のある応募地を主張して管理者・副管理者の合意に至らず、貴職が7回目で急きょ「管理者の責任として」竹原区に決定したことなどが指摘されています。

各字の説明会でも、排出物質への不安、農業・自然環境への悪影響、景観、学校・保育施設との近距離などの意見が出されました。

さらには、構成市町の7割を超す彦根市内のゴミを遠く離れた竹原地区に運搬することになれば、運用経費が膨大となることに伴い、本来彦根市が負担すべき運用経費まで財政規模の弱い4町に強いられかねません。その上、大量のゴミ収集車が通行し、住環境にも多大な悪影響をもたらすことが予想されます。

竹原地区が建設候補地の手を挙げられた背景には長年の間、梨の生産衰退後の土地利用を切望されてきたと聞いています。今回の新ごみ処理施設建設計画にかかわらず、貴職を含め構成市町の首長が県・国とも連携を密にして、ゴミ処理施設の「建設地」以外の利活用に展望が開けるよう尽力されることをこの機会に要請するものです。

以上のことより、下記の事項を強く要請します。

記

- 彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地を愛荘町竹原地区とする との決定を一旦白紙に戻し、「広域化計画」のあり方も含め、建設候補地選定を抜本的に見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

彦根愛知犬上広域行政組合
管理者 大久保 貴 様

平成30年6月12日

甲良町議会議長 丸山 恵二

一般質問

町政のここが知りたい! 聞きたい!

Q&A



木村 修 議員

南部工業団地開発 進捗は

Q 現在の進捗は。

A 企画監理課長

進捗はないが、現在観光業を含めて全産業の集積用地として取り組むべく、庁内検討委員会を組織し土地利用について再検討を実施していく。

Q 自然破壊、環境破壊という話があるが、開発当時の使われ方は。

A 企画監理課長

開発はされなかったし、利用方法は不明。

Q 過去に産廃が捨てられていたと聞くんが。

A 企画監理課長

不法投棄という考え方で、28年度に撤去作業をした。

Q 町にとって企業誘致は必然と思うが。

A 町長

企業誘致を進めるには、土地単価がもう少し安くならないと企業は飛びつかない。もう一度単価も含めて再検討をしてはどうかと県からコメントをもらっている。東京にある「ここ滋賀」にもアンテナをはって情報キャッチをお願いしており、計画的な準備を進めていく。

入札に関して

Q 入札の種類と、町の採用方法は。

A 企画監理課長

一般競争入札、指名競争入札、随意契約、競り売り方法がある。町建設工事発注基準に基づき、主に条件付の一般競争入札を実施している。

Q 町内業者と町外業者の識別は。また、指名競争入札のときにあったリンク分けは。

A 町長

A 企画監理課長

入札参加資格の登録は、町内に本社がある町内業者・町内に支店を置く準町内業者・町外業者で入札の取り扱いを区分けしている。

また、リンク分けはなく、審査、評価点をもつて入札を行っている。

Q 指名競争入札と一般競争入札において、職員の何人が最低制限価格を知りえるのか。

A 企画監理課長

一般競争入札では、町長と企画監理課長の2人。

A 町長

指名競争入札では、入札担当課長、町長と工事執行の担当課長の3人くらいだったと思う。

Q 最低制限価格を決定する方法として、以前各社の札入れが済んだ時点で、0.9の数を用いて最低制限価格を決定する

方法があったようだが。

A 企画監理課長

この入札方法を町で実施したことはない。現在は札以外に積算内訳書を提出させ工事等が適正に行われているかどうかを確認している。

農村まるごと保全 隊現況は

Q 組織の仕組みは。

A 産業課長

11集落に対し交付金を交付している。事業実施主体は、農業団体、村づくり委員会、各種団体などの各集落。

Q 組織活動の広域化とは。また、アンケート調査の結果は。

A 産業課長

広域化とは、複数の事業主体が事務の一元化のために事務局を設置し、広域組織として活動するしくみである。負担の大

きい書類作成の事務作業を各集落から切り離す事で活動に専念でき、活性化が期待されると思う。また、アンケートについては、参加したい集落②、検討したい集落⑥、何ら問題の無い集落①、今後に不安を持っている集落①、未提出の集落①という結果になっている。

Q 活動組織広域化の費用は。

A 産業課長

全集落に参加していたが、交付金の10%くらい必要で、参加の集落が少なくても国からの一時的な事務費が入ってくる。

【その他の質問】

◆耐震問題について

◆町の補助団体について

一般質問

町政のここが 知りたい! 聞きたい!

Q&A



阪東佐智男 議員

通学路の 安全対策に問う

※奪われた小さな命は戻ってこない。新潟市の小学2年生の女児7歳が殺害された。近所の男の23歳が死体遺棄の容疑、また線路に放置したむごい事件であった。男は容疑を認めているが、動機や手口は、現在調査が進められている。女児が下校時に1人になり、もう少しで帰宅というところで連れ去られた。甲良においても、人口減少で、通学路の安全対策を一度見直しの必要ではないか。

また、通勤ではホームから線路内に突き落とす悪質な犯罪も発生している。

Q 新潟の女児事件で、県教育委員会や国から各市町に対して何らかの指導があったか。

A 学校教育課長

県教育委員会保健体育課から、30年4月27日付で文部科学省の通知を受けて、「児童生徒等の通学時の安全確保」の通知が出された。その中に、安全な登下校の実施、児童生徒等の登下校を地域全体で見守る体制づくりに取り組む旨の依頼がありさらに、同じく保健体育課から、30年5月15日付で、スクールガード登録人数調査と通学路における見守り、付き添い体制の構築についての文書が出された。その中で、新潟の事件にふれて、登下校時に1人にならないことを指導するとともに、スクールガードをはじめとする地域住民の協力を得て、十分な見守り、付き添い体制を維持する旨の依頼があった。

Q 学校には安全計画策定が文部科学省から義務づけられているが、不断

の検証と改善策が欠かせないが通学路については死角を減らすことが重大な要点だろうと考える。過去からの検証で安全箇所があると思うが教育委員会の認識度は。

A 学校教育課長

それに特化した調査は今まで行っていない。各学校の通学路は、従前から通学路交通安全推進協議会で、常に危険箇所のチェックをしている。PTAや学校から上がってきた要望を集約し、PDCAを行い対応している。昨年度は東学区8件、西学区9件、計17件の危険箇所について対応した。このうち11件は、既に看板やグリーンベルト等の設置、または木の伐採等を行い、死角のないように取り組んでいる。

※どうしても死角となる部分は、ふるさと納税の資金を活用し、計画的に

防犯カメラの設置を行い安全な環境の取り組みを行ってほしい。

Q 尼子からセブンイレブンまでは、夜間特に暗く防犯上で不安全箇所であり早急に、LED電灯が必要でないか。

A 総務課長

LED化は総合戦略の事業計画でも位置づけており、今年度はセブンイレブンから尼子駅までを6基、駅周辺を5基計画している。

Q 尼子駅の監視カメラはダミーが取り付けられて平然とされているところは町としてお粗末なことである。早急に施設管理者として正規カメラを取り付ける必要があると考えるが。

A 産業課長

今回の予算で計上しており、了承されれば、死角とかも考慮しながら設

置したい。

【その他質問】

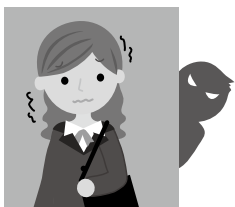
◆農免道路事故について

◆行政事務委託業務について

◆徴収金滞納状況について



尼子駅



一般質問

町政のここが知りたい! 聞きたい!

Q&A



岡田 隆行 議員

小中学校の事務効率化とリスク管理について

Q 愛荘町の小学校職員が、給食費688万円着服した事件があったが、町内小中学校の学校給食費の支払い現状は。

A 教育次長 全て口座引き落としになっている。

Q 給食費以外の問題点は。

A 教育次長 給食費以外では、現金を持つてくる場合があり、紛失や盗難のおそれがあると思う。

Q 滋賀銀行から「しざぎん」Bizダイレクトによる町内小中学校の事務効率化の提案を受けたと聞くが、提案内容と今後の対応は。

A 教育次長 Bizダイレクトとは、

現金を扱わないというもので、保護者、学校、業者の三者間での口座内でのやりとりが可能となる。今後の予定は、今年度にシステムを導入し、保護者説明会を行い、来年度の4月以降に実施予定。

家庭支援について

Q 家庭支援とは、どのような施策か。

A 人権課長

さまざまな要因に基づく家庭の貧困、あるいはそれが子どもに与える影響や、日本の先行きを不安視するような話だと思いが、人口減少が進んでいる中で、どのようにやっていくかという中で、の家庭支援になってくる。町においてもそのような課題を抱えている家庭があるので、その家庭に対して学校、保育園、保健福祉課、両センター、さ

さまざまな立場でさまざまな現場での支援をしているが、なかなか実を結んでいないと実感している。今、家庭支援をどうしていくか検討を重ねている。

※いくつかの指摘をさせてもらい、子どもや家庭の悩みを総合的にサポートしている自治体の事例を紹介した。私が家庭支援事業に望むことは、身近にある子どもの貧困にまず気づき、そこからできることは何かを考え、かわらうとする気持ちを持つて行動すること。子どもに関心を持ち、寄り添うこと。そうすることで、子どもは信頼できる人と出会えたと感じる。行政だけでなく、地域を巻き込んで皆が子どもを大切にすることを高めることで、地域がまとまっていくことも期待される。中途半端に家庭支援事業をして、成果がなければ

打ち切りするようなことだけは、決してしないで欲しい。信じていた大人に裏切られる子どもの気持ちを考えて、心が痛みます。真剣に家庭支援に対して取り組んでいたとき、本町が抱える重要な課題に真正面からぶつかった。この質問を終え

プログラミング教育について

Q プログラミング教育とは。

A 教育次長

子どもたちにコンピュータに意図した処理を行うように指示することができ、それを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を越えて普遍的に求められる力として、プログラミング的思考などを育成するもの。

※一例を取り上げ、総務省の実証事業の例や、未来の学びコンソーシアムの活用の提案、公益財団法人パナソニック教育財団の学校の教育に対する研究助成金事業の活用、教育コンシユルジュの活用などを提案した。特に本町の小中学校の教育については、学力の低下などが著しく顕著であり、学校の先生も一生懸命子どもたちのために勉強だけでなく、さまざまな子どもたちを取り巻く問題に真摯に取り組んでいるが、家庭支援の問題と併せていかに教育や家庭支援に予算をつけていけるかが本町の明るい未来を構築できるのではないかと信じてこの質問を終える。

【その他質問】

◆職員力の向上について

一般質問

町政のここが知りたい! 聞きたい!

Q&A



西川 誠一 議員

公金損害請求は

Q 追加請求の入金があったか。7100万円の精査の進捗は。

A 税務課長

入金はない。小島と今後相談するが未納が発生しないよう話し合う。県に相談指導を受け、4100万円を調査中、残り3000万円はその後の作業となる。

Q 信頼回復するため何件かある不祥事を放置せず、町長自らが早期に事実解明し情報開示することを求めるが。

A 町長

信頼回復が最大の責務と思っている。疑惑疑問を明らかにし、第三者委員会や職員分限懲戒審査会に諮っていく。

滞納対策をどうするか

Q 自主財源の乏しい本町は、滞納問題という大きな課題がある。

県内6町の滞納強化対策はどうか。

A 税務課長

6町の状況は不明、今後会議等で聞く。

Q 議員・職員に滞納者の有無を再度尋ねる。

A 会計室長

個人を特定する恐れがあるので回答を控える。

A 町長

会計室長の回答通り。

※私はあると理解する。

湖国バスについて

Q 殆ど利用実態のない現状に毎年900万円の補助金を投入する理由は。

A 企画監理課長

現状に毎年900万円の補助金を投入する理由は。

暮らしを守るため公共交通機関の役割りを担っている。愛のりタクシーを含め、湖東交通活性化協議会で検討したい。

Q 多賀町は金屋橋萱原線の廃止を議決したと聞く。養護学校と協議が必要だが、廃止した場合の影響を住民アンケート調査できないか。

A 企画監理課長

車のない人、地価、観光振興商工業含め都市機能に影響が出る。今年度湖東圏域で交通網計画の作成予定。

人口減少対策は

Q 想像以上に進む人口減少の歯止め策として、県内の大学と共同で空き家活用、観光、農業問題、大林寄贈土地活用等の見直し、発案をお願いしては。

A 企画監理課長

想像以上に進む人口減少の歯止め策として、県内の大学と共同で空き家活用、観光、農業問題、大林寄贈土地活用等の見直し、発案をお願いしては。

防災について

Q 河瀬交番凶悪事件で警察署より連絡が入った時点で防災放送を流す必要があったが、緊急事態を協議しては遅い。

A 総務課長

マニュアルは作成した。緊急時は危機管理意識をもって、直接町長に連絡指示を受ける事も検討する。

Q 犬上川小川原付近まで堤防補強テトラポットが流れている。台風時の洪水で新幹線や近江鉄道の橋脚にぶつかり破壊される危険性があるが。

A 建設水道課長

すぐに県土木事務所に連絡する。



一般質問

町政のここが 知りたい! 聞きたい!

Q&A



山田 充 議員

新町長に期待

Q 新町長になり、30年

度も2か月が過ぎ、行政体制に新鮮味が見られない。全国で最低の町としてマスコミで放送され、町民が肩身の狭い思いを過ごしてきた8年間を取り戻すことは容易なことではない。しかし、2300人以上の町民の期待を受け、町長に選ばれたのも事実。まず役場の体制を一新し、旧体制から脱却するスタートであると思うが。

A 町長

元職員による公金着服事件の後処理、この間に発生した行政内部職員の人間関係のもつれ、議会ではこれらに関する質問も続いている。

一方、人口減少問題、行政改革問題など、課題も山積している。新たなルールづくりな

ど、日常業務を推進しながら事務改善にも努めており挨拶運動による明るい職場づくりにも取り組んでいる。まちの力は人なり。町政運営を支えるのは職員であるが行政運営の客観評価は住民。確かに「町長選挙での訴えとかけ離れている」「委縮して野瀬カラーが見えない」など、直接の声もある。今は、地道に取り組む時期である。全ての町民の方々に及第点を得るには難しいが、早急に見える形の政治もしなければならぬ。町民の声に耳を傾け、熟慮を重ね、政治力を発揮した取り組みを進めていきたい。

町の基幹産業について

Q 町内の経済基盤は、

農業と建設業が主体の町であり、この基幹産業をどのように繁栄させてい

くかで町の運営が大きく左右される。幸い地元選出の県会議員やこの地区選出の副大臣の力を大いに借り基幹産業の繁栄に寄与する施策をお願いしたいが。

A 町長

町の公共事業であるインフラや社会基盤整備の大きな事業は一通り終えている。今は、小規模な維持補修工事が主となっている。一方で既存のため池、橋梁、用排水路など、将来に備えた強靱化調査を行い、次なる計画に備えている。また、公共施設も耐用年数、経年変化による改修、補修が必要である。

農業振興として、町行政、JA東びわこ、湖東農業農村振興事務所が力を合わせて、経営強化、農業者育成も行わなければならない。

これらを推進するには、事業創出とともに県関係

機関への相談、地元選出国会議員を通じて国への要望活動は重要である。

弱者救済の施策は

Q 町は高齢化が進んで

いる。収入も低く、国民年金対象者がほとんどの反面、仕事に意欲がある人が多いのも事実であり、その方々にできる仕事を町として提供することが重要課題である。そのための施策は。

A 産業課長

仕事の提供としては、シルバー人材センターへ作業委託をしており、除草作業や清掃などを新たにお願ひする。今後も高齢者や就労意欲のある方が活躍できる場として、シルバー人材センターの引き続き有効的な委託を考える。

議会対策

Q 町長の計画する施策

に議会が協力することも重要である。正當な協議ができない、一部の身勝手な議員に振り回されるようなら、早急に議会の解散も視野に入れ、町政を進めてもらいたい。町内の各字では新しい候補者も準備されていると聞いている。任期に関係なく早期解散を熱望する。

A 町長

行政は、課題整理や業務の見直しなど行財政改革に努めなければならない。そこで、議長とも相談し全員協議会を開催していただき、説明と協議を深めていきたい。ルールのない議会解散はできないし考えていない。



一般質問

町政のここが 知りたい! 聞きたい!

Q&A



野瀬 欣廣 議員

社会福祉協議会の 介護サービスの移 管について

Q 今年度末に移管する
という発表があったが、
その後は。

A 保健福祉課長
事業移管については、
まだ検討中であり近く方
向性を示す。

Q 一部利用者や職員か
ら心配する声も聞くが概
略の説明はしたのか。

A 保健福祉課長
詳細が決まっているい
ないため説明していない。
今後は、介護サービス
の質や量は低下させない
ようにしたい。

公用車にドライブレ コーダーの設置を

Q 安全運転の意識向上
や事故発生時の責任の明
確化にはドライブレコー
ダー装着が必要だと思う。

A 総務課参事
公用車にドライブレコー
ダーの装着を望むが。

公用車の事故も多く、
事故が起きた場合の責任
を明確化させる意味でも、
ドライブレコーダーの装
着は意義がある。予算化
し、順次装着していく。

国道・県道の交差点 改良の早期実現を

Q 長らく要望し早期完
成が待たれる国道野口交
差点の改良工事が中断し
ているように見える。な
ぜ中断しているのか。ま
た完成予定は。

A 建設水道課長
国道野口交差点の東側
の用地買収は終わってい
る。今年度、歩道工事を
6月から約60m着手する。
また国道西側の橋本建設
側の用地買収が今年度か
ら入る。順調に進むと、
33年度の開始予定。中断
はしておらず、西側、東

側が完成して初めて供用
開始する。

Q なぜ東側だけで供用
開始できないのか。

A 建設水道課長
西側の工事ができない
とセンターラインがずれ
るので、片側だけで供用
開始をするというのは今
のところ難しい。

Q 東側だけでも対応で
きるような方策を考え町
から強く要望するよう進
めてもらいたい。



国道野口交差点

A 建設水道課長
県に要望する。

Q 中途半端になってい
る出町の交差点の改良予
定はどうなっているか。

A 建設水道課長
31年度に工事着手、32
年度供用開始予定。

犬上河川愛護 について

Q 福寿橋の下に犬上川
におりる道がついている
目的は。

A 建設水道課長
県に確認したところ、
犬上川の維持管理用につ
くられた。

Q 犬上川へ勝手に侵入
し、違法廃棄につながる
かと危惧している。普段
は通行止めしておく対
応はできないか。

A 建設水道課長
鎖をつけるなど、車の
侵入を防ぐことも可能。

福寿橋下のおりる道



Q (株)日立物流西日本や
(株)ビームと犬上川の間は
県が管理している土地だ
と思うが、ほとんど管理
されていない状況である。
有効利用できないか。ま
た見た目すっきりとした
何かできないか。

A 企画監理課長
企業団地をつくったと
き県道のり面を埋めた用
地であり、県としても、
利用計画は持っていない。



一般質問

町政のここが知りたい! 聞きたい!

Q&A



山田 裕康 議員

甲良町総合公園について問う

Q 町総合公園の使用料はいくらか。

A 社会教育課長

多目的運動場

町内の方

1時間半面 500円

全面 1000円

町外の方

1時間半面 1000円

全面 2000円

少年野球場

町内の方

1時間 500円

町外の方

1時間 1000円

Q 28・29年度の総合公園の使用料収入は。

A 社会教育課長

28年度 92100円

29年度 71600円

Q 28・29年度でスポーツ少年団の使用は年間何日あったか。

A 社会教育課長

甲良東スポーツ少年団
多目的運動場

28年度 163日

29年度 129日

少年野球場

28年度 163日

29年度 161日

甲良西スポーツ少年団

多目的運動場

28年度 21日

29年度 1日

少年野球場

28年度 35日

29年度 13日

Q 町総合公園の28・29年度の電気代、水道代はいくらか。

A 社会教育課長

水道代

28年度 71万4千円

29年度 47万5千円

電気代

28年度 191万円

29年度 175万円

※年間に200万以上の赤字が続いているということで、早急に見直して



野球大会時の墓地公園駐車場

いただきたい。

また、野球大会があると墓地公園にまで駐車され、墓参りにもいけないと苦情があるので改善を求める。

職員の処分に ついて問う

Q 前町長の時にプレミアム商品券の不正購入が行われたが、その時に特別調査委員会の聞き取りなどに対しての隠ぺい工作が行われていたが、そ

のようなことに対して、洗い出しはするのか。

A 町長

当時の結果が不十分で、行政検証すべきならば、議会でもう一度、練り直していただき、その内容を示していただきたい。

Q 不正購入者は、返金したのか。

A 産業課長

返金、返還などはない。

Q 隠ぺい工作などに対して、処分は行うのか。

A 町長

事実検証を行った上で、職員分限懲戒審査委員会に図らなければならない。事実があれば、答申を受けて処分を判断する。

防災訓練に ついて問う

Q 昨年の避難訓練で、車いすで避難してきた方に対する対応は、差別対

象であると思うが、町はその認識を持って人権問題として取り上げたのか。

A 総務課長

車椅子で西小学校へ避難して来られた方を中心に、入れず帰ってもらった事象は、差別意識を持った対応ではない。本部の指示ができていなかった、訓練上のミスだと捉えており、人権問題という感覚は持っていない。

※2000件データの削除、防災訓練での差別問題、延滞金還付の交渉記録削除や公文書をメモと偽るなど、いろんな隠ぺいが行われてきたことは、明らかでなく、隠ぺいの体質を変えないと、町民の信頼の回復にはならない。早急に改めていただきたい。

一般質問

町政のここが 知りたい! 聞きたい!

Q&A



西澤 伸明 議員

より親しみやすい 図書館利用へ

Q 町の図書館は小さいながらも木のぬくもりが感じられる空間で、さまざまな工夫された取り組みがされ、文化スポットとしての評価を聞いている。幼少から本に親しむことができる環境を整えるのは大人の大切な役割だと考えるが。町の現状、課題はどのような状況か。

A 社会教育課長

乳幼児から気軽に本と出会い、本と親しむ環境を整え、発達段階に適切な読書活動を進めること、子どもの想像力を豊かにし、考える力やコミュニケーションの力を育むためには読書が欠かせないものだと考えている。

読書の調査で町の不読率は29年度、町の小学生が8%、県の小学生の平均は3%だ。中学生では、町が30%、県では12%と、

本を読まない割合が県の平均を上回っている。

本の紹介や読み聞かせなどの本に触れる機会を増やし、乳幼児から本と気軽に親しみ、子どもたちの身近に本がある環境づくりに努め、読書習慣を身につけていきたい。

Q 駅に絵本のキャラクターが書かれている和歌山県有田川町には「有田川町読書条例」があり、

「読書は言葉を学び、知識を得て、感性を磨き、表現力、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につける上で大切なもの」との文言がある。

一方、町に顕著な東高西低と言われて久しい。西小の子どもたちが図書館に接する機会が大変少ない。これをどう解決するのか。

A 社会教育課長

貸し出し冊数で見ると、

29年度の7歳から12歳までの学区ごとの貸し出し冊数では、西学区が2718冊、東学区が1万1037冊、東西小学校の生徒数の違いはあるが、東学区の児童に比べ、西学区の児童の貸し出し冊数が少ない。東小学校は図書館に月2回来館。西小学校では移動図書館で月2回、昼休みを利用して本の貸し出しを行っている。

移動図書館では、来館での冊数には及ばないが、毎回400冊前後の図書を持参し、選びやすいように工夫するなど、移動図書館をより利用しやすい、図書館へも西小学生が来館できるよう先生方とも協議して進めたい。



図書館展示のひとつ

Q 図書館の全空間自体が値打ちを示している。移動図書館も本を見る点では役割を果たすが、空間を子どもたちが体感する点では不十分だ。

東小の場合はクラス、学校で図書館へ一緒に入っている。西小の場合もぜひその取り組みをすすめてほしい。

A 教育長

校園長会等で話をしていたことのついでに、西小の子どもたちの読書の時間をどこかに決めた

ら、例えば町バスで西小学校から図書館まで送り迎えをして、その時間を取ることも今後も考えていきたい。

【その他の質問】

◆人口減少問題の背景にある行政内の不祥事、犯罪なども視野に入れた解決策を。

◆ゴミ問題は住民と行政が協力して解決すべき視点から「ごみ処理広域化」と建設候補地の竹原地区への決定の見直しを。

◆障がい者にも利用しやすい図書館設備の改善を。

◆改良住宅の払い下げ課題は住居は暮らしの拠点であり、憲法で保障された人権規定の重要な要素と位置づけ、滞納問題などの困難な問題も前向きに解決を。

一般質問

町政のここが 知りたい! 聞きたい!

Q&A



宮寄 光一 議員

河川のゴミ対策は

Q 第一化成の北側の水路に、台風や大雨のときに水路にゴミがたまって、道路や田んぼに流出して困っている。何とかならないのかと聞いたので、現地の人に話を聞き、原因は何かと上流まで調査した結果、水路の周辺にいろいろなゴミや古タイヤが捨てられていた。その対策は。

A 建設水道課長

この水路は、非常にゴミが多く、ごみ集積の網を設置したが、問題もあ



不法投棄された廃材

るので、地域の方と相談し対応する。

防災センター中止により一般財源の持ち出しが増えないか

Q 4月に建設水道課と人権課を移設したが、どのような費用が発生し、また、今後の見込みは。

A 総務課長

電算・LAN工事関連経費等として約250万円の支出。今後、防災の備蓄倉庫、廃棄物収集処理施設、庁舎西側の倉庫の代替が必要となる。他、公共施設の基本計画に、400万円必要。

管理職が出張届も出さず私用車で県外に出張したと聞いたが、誰と誰が何の用件で行ったのか。

Q 管理職が、出張届も出さずに、私用車で県外に出張したと聞いたが、誰と誰が何の用件で行ったのか。

誰と誰が何の用件で行ったのか。

たのか。

A 町長

公金着服の関係で、当時の総務課長と税務課参事、現人権課長と現長寺館長に、出張を命じた。

A 総務課長

出張届は、後日に出てきた。

Q 町長は、3月議会で、個人の人間関係も相談しているのではないかと聞いたが。

A 町長

個人と言ったのは、職員間のトラブル、行き違い、公務上と言うか仕事上で、検証しなければならぬ前提であるので、公務というか個人の問題ではない。

4月8日発行の町政・議会報告、第9号の事実確認は…

Q 3月の議会閉会后、議員控室に現長寺館長と

人権課長が来て、館長が「事実ではないことをビラに書かれてショックでした。長浜のH氏と私は何のかかわりもありません。宮寄議員が主張している問題は、長浜のH氏と宮寄議員の問題であって、私には一切関係ありません」と一方的で、私には、けんか腰のように聞こえたが。丸山議長が「どの場に出ても知らないと言いつつ通しますか」と聞いたところ、「はい」と答えた。また、3月15日に長浜のA氏が町長に面談に来た時の録音を6月4日に議員に聞いてもらった。録音の中でA氏は「甲良町の女子職員が長浜のH君に相談したんや」と言っていたが。そのH氏は、山田裕康議員の秘書と言われている人で、現長寺館長の自宅にも出入りしているようだが。私は、以前、面識もなく、知らないものであれ

ば、長浜のA氏を名誉毀損で訴えるなど、何らかの行動をとるべきではないかと言っていたが。私が言いたいのは、私のつくり話ではなかったということが、全協で証明されたと思うが。

A 町長

事実では無いのとおり。あれが全て。

【その他の質問】

◆長寺のメガソーラー

◆長寺東部宅造の東側の水路改修

◆職務命令と任命責任

◆職務専念義務違反

(個人のパソコンの持ち込み・勤務中に長時間スマホを操作)

(広報委員会より)

◎一般質問は紙面の都合で省略しています。

町のホームページに後日掲載しますので、ご覧ください。

「地域福祉の活性化をめざして」

町の高齢化率は県下で三番目に高く、若者が減少し、高齢者が増えているのが現状です。呉竹と長寺西地区はその他の地区と比較すると、高齢化率は低いことがわかります。このことは、長年肉体労働などで体を酷使してきたことにより、寿命が短い傾向にあるからです。また、日雇い労働などの不安定な就労状況は仕事を休めば収入が得られず、病気の早期発見・早期治療を遅らせ、働き世代での発病や死亡などの原因にもなっています。少しでも元気に



呉竹デイサービス「ボールを使って筋肉トレーニング」

日常生活訓練・レクリエーション等を行うことにより、その自立を助長し生きがいを高め介護予防を図るために、毎月2回実施しています。

もう一つ高齢者の楽しみがあり、呉竹区内のボランティア5名が中心となり毎月1回家に閉じこもりがちな

一人暮らし高齢者などの生きがいづくりや社会参加促進を目的に、住民主体のボランティア事業「さわやかサロン」が地域福祉の活性化のために期待されています。また「老人会」では、自ら学習する意欲を持ち、社会貢献と健康保持に取り組んでいます。



呉竹デイサービス「お楽しみ会」

これらの活動に共通することは、皆がひとつの場所に集まり、声をかけ合い、互いを気遣い、近況を語り合うことが、個々の役割であり、生きる意欲に繋がっているということです。皆が助け合って暮らせる地区を目指して日々頑張っています。

(呉竹さわやかサロン)

せせらぎ

毎日蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。体調を崩されたりしておられませんか。この時期は、特に水分補給に気を付けていただきたいと思います。

さて、この6月28日に30年度常任委員会合同視察研修に参加し、滋賀県高島市の市役所内で、「人口減少や定住促進について」と、「空き家対策について」学びました。視察研修前日までに、高島市の情報に目を通し、高島市の先進的な取り組みについて、質問などを準備し、当日は高島市職員の方から、取り組みなどの説明を受けて、私も個人的に質問させていただきました。有意義な視察研修になりました。

今回の9月議会では、学んできたことを、今の甲良町の課題や現状に照らし合わせて、一般質問できるようにして、視察研修の成果が発揮できるように、頑張ります。

岡田 隆行